

時代遅れの技術となって消えるのか  
 美術表現として自立するのか  
 19世紀、版画は未来を賭けた  
 冒険にのりだす

町田市立国際版画美術館 開館25周年記念

# 版

Peintre-graveur: Adventures in Graphic Arts in 19th Century

2012  
**4.14(SAT)⇒6.17(SUN)**

月曜日休館、ただし4月30日(月・祝)開館、5月1日(火)休館

[平日] 10:00-17:00(入場は16:30まで)

[土・日・祝] 10:00-17:30(入場は17:00まで)

一般1,000(800)円/大高生500(400)円/  
 65歳以上500(400)円/中学生以下は無料

\*()内は20名以上の団体料金

※展覧会初日4月14日(土)、開館記念日4月19日(木)は観覧無料

※身体障がい者手帳または愛の手帳等をお持ちの方と付き添いの方1名は半額

主催=町田市立国際版画美術館

後援=フランス大使館

特別協力=フランス国立美術史研究所/フランス国立図書館

協力=アンドレ・シュニユ/小田急電鉄株式会社/

カトーレック株式会社/日本航空

ANDRE CHEVRE B.A. KATOLEK

# の

ミレー、ドガそしてムンクへ

# 画

# 冒

1-ウィリアム・ターナー(1775-1851)『バウランツァ、マジョーレ運』(部分) 1846-48年頃 水彩 静岡県立美術館蔵  
 2-オディロン・ルドン(1840-1916)『光の捕鯨』(部分) 1893年 リトグラフ 公益財団法人上原五代美術館蔵  
 3-オディロン・ルドン(1840-1916)『パッサスにのるミュージー』(部分) 1904-10年 油彩 群馬県立近代美術館蔵  
 4-ジェームズ・ホイットラー(1834-1903)『サン・ピエラオ』(部分) 1879-90年 エッチング 兵庫県立美術館蔵  
 5-エドワール・ムンク(1893-1944)『海を背にした女の顔』(部分) 1899年 多色刷り木版 大泉美術館蔵  
 6-カミーユ・ピサロ(1830-1903)『モン・フォーの冬(雪景色)』(部分) 1876年 油彩 長野県立美術館蔵



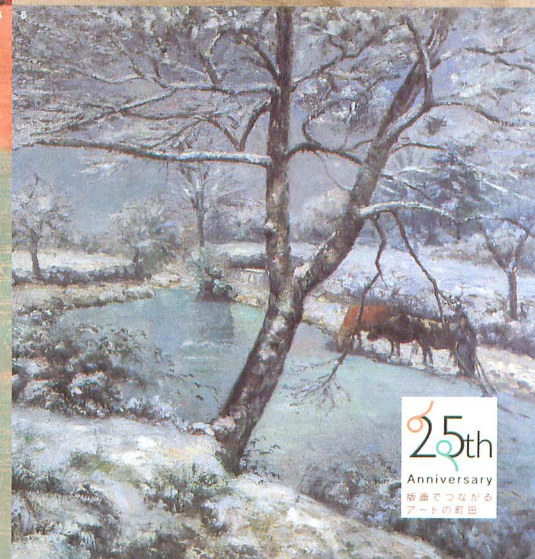
**町田市立国際版画美術館**

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1

小田急線・JR横浜線町田駅から徒歩15分

Tel.042-726-2771/0860 <http://hanga-museum.jp/>

問い合わせ: 町田市イベントダイヤル Tel.042-724-5656



# 険

25th  
 Anniversary  
 記念すべき  
 25周年の日

社会構造が大きく変化した19世紀後半のヨーロッパ。写真の登場や印刷技術の飛躍的な発展などのために、版画は大きな岐路に立たされました。時代遅れの技術として消えていくのか、美術表現の一つとして自立するのか。版画の生き残りをかけたさまざまな挑戦が開始されます。そこで大きな役割を果たしたのが、自由な発想で版画を制作したミレーやピサロ、ドガやルドンなどの画家たちでした。そして、彼ら「画家にして版画家 peintre-graveur」の仕事によって、版画は美術表現としての道が切り開かれ、新しい時代に適応していくことになります。

本展覧会は、版画が生まれ変わるこの過程を3部構成によって紹介します。出品作品は国内とフランスの機関が所蔵する優れた版画と、関連する油彩や水彩等をあわせた約200点。画家たちの個性的な試みを追いながら、彼らが版画のどこに存在理由を見出していったのかを考え、同時に版画の魅力を発見していただければと思います。

25周年を迎えた町田市立国際版画美術館がおくる、ユニークな内容の展覧会です。ぜひご覧下さい。

## Peintre-graveur: Adventures in Graphic Arts in 19<sup>th</sup> Century

# 版画の冒険

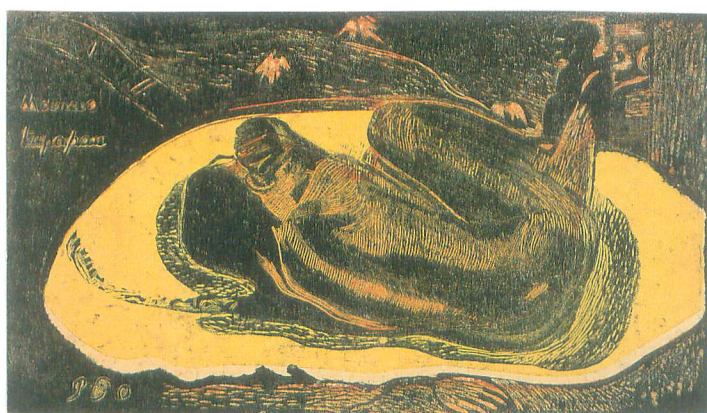
ミレー、ドガそしてムンクへ



2



3



4



5



6

- 1—エドガール・ドガ(1834-1917)  
「劇場にて」1878-80年頃  
モノタイプ フランス国立美術史研究所蔵  
Institut national d'histoire de l'art,  
Bibliothèque, collections Jacques Doucet
- 2—エドヴァルド・ムンク(1863-1944)  
「マンナ」 1895/1902年  
多色刷りリトグラフ 大原美術館蔵
- 3—ジャン・フランソワ・ミレー(1814-1875)  
「バター作りの女」 1855年  
エッチング 横浜美術館蔵
- 4—ポール・ゴーギャン(1848-1903)  
「マナオ・トゥバリバウ」 1893-94年  
木版、ステンシル  
町田市立国際版画美術館蔵
- 5—フェリックス・ピュオ(1847-1898)  
「ウェストミンスター宮殿」 1884年  
エッチング、ドライポイント、ヴェラム刷り  
町田市立国際版画美術館蔵
- 6—カミーユ・ピサロ(1830-1903)  
「雨の印象」 1879年  
エッチング、アクアチント  
町田市立国際版画美術館蔵

### 【関連イベント】

#### ● 講演会(手話通訳付)

①太田治子氏(作家) 5月5日(土・祝)  
「版画のなかの人生」

②田島直樹氏(筑波大学准教授) 5月27日(日)  
「19世紀の銅版画にみる刷りの効果について」  
いずれの講演会も、午後1時30分-3時

会場:美術館講堂

\*聴講無料、ただし企画展観覧の方が対象です。

#### ● アート・キューブでわくわく美術探検!

4月29日(日)、30日(月・祝)  
各日とも午後1時30分-3時

福島で開発された美術鑑賞サポート・ツール「アート・キューブ」を使った子ども向けワークショップ。ゲーム感覚で楽しく展示室を見て回ります。事前申込制です。詳細は美術館公式サイトをご覧ください。

講師:永山多貴子氏(郡山市立美術館学芸員)  
橋本淳也氏(福島県立美術館学芸員)  
真柴毅氏(福島県立高校教員)

#### ● プロムナード・コンサート

6月2日(土) 演奏:石平彩香(ピアノ)  
小形響(ヴァイオリン)

6月9日(土) 演奏:石平彩香(ピアノ)

場所:美術館エントランスホール

各日とも午後1時と3時の2回、約30分程度の演奏。  
どなたでもお聴きになれます。

#### ● 学芸員によるスライドレクチャー

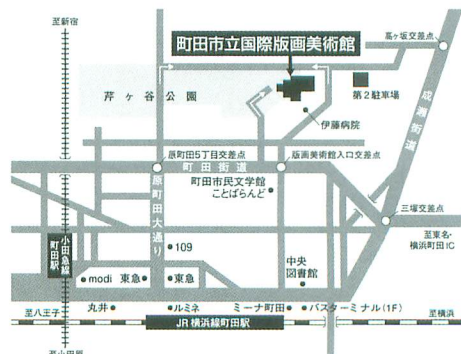
5月6日(日)、13日(日)、20日(日)  
午後2時より1時間程度 場所:美術館講堂 \*聴講無料  
ただし企画展観覧の方が対象です。

#### ● 館長によるスペシャル・ギャラリートーク

5月19日(土)午後2時より1時間程度 \*観覧券が必要です。

#### ● 学芸員によるギャラリートーク

4月22日(日)、6月10日(日)  
午後2時より1時間程度 \*観覧券が必要です。



## 町田市立国際版画美術館

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1  
小田急線・JR横浜線町田駅から徒歩15分

Tel.042-726-2771/0860 <http://hanga-museum.jp/>